

禁煙宣言



喫煙は生活習慣病やがんの危険因子です。喫煙による本人への健康障害ばかりでなく、周囲の受動喫煙者に対しても健康障害を起こします。総合健診は、多くの検査を駆使して健康度を評価し、適切な保健指導により、将来的な疾病の発生を予防することを目的として発展してきました。喫煙により我が国においても、毎年20万人が貴重な命を落としていることを考えると、早期からの適切で総合的な喫煙対策を総合健診受診者に提供することが望まれています。ここに、日本総合健診医学会は喫煙に対し、学会をあげて総合的な対策を行うことを宣言します。

大切な人を守りたい。



健診専門医は喫煙対策を推進します

- 1 総合健診施設は、全面禁煙を目指します。
- 2 総合健診では、喫煙による健康障害を早期に発見するように努めます。
- 3 喫煙者に対しては、禁煙指導を総合的に支援します。
- 4 喫煙による健康障害が発見された場合には、適切な事後指導を提供します。
- 5 禁煙を希望される方には、適切な支援をします。

